文科省様式９

令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●Ｒ７年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型１	課題の類型２	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和７年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）		目標等の公表先
五條市	学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	学校適正化により、各校園の校区が広域となり、地域との連携や地域住民の教育活動への参画・協働が難しい。ボランティアの確保と活動の場を広げていく必要がある。	地域コーディネーターの活動日数を増やし、教職員とのコミュニケーションを大切にしながら、必要とする活動内容と目標を設定する。目標達成にどのような人材が必要かを明	令和６年度末の段階で、目標を達成できる見込はない。住民の高齢化、人口の減少という市が抱える課題を踏まえ、地域コーディネーターと連携し、活動内容の周知に係るＰ	地域人材の発掘とボランティアの確保をし、地域学校協働活動を充実させ、子どもたちの学び と地域の人々の生きがいづくりを目指す。	各地域学校協働本部で年間に実施する地域学校協働活動に参加する市全体のボランティアの延べ人数	5900	人	6000	6851	4	働き方改革を推進するにあたり、各校園が地域へのアプローチを積極的に行い、地域の協力を増大することができた結果である。更に、学校から地域への貢献を増すこと	https://www.city.gojo.lg.jp/soshiki/gakusyuu/6/14536.html